

ナース・アクション福岡 (NAF)の 取り組み

ナース・アクション福岡 代表
坂本 幸穂

「看護の日」宣伝行動



ナース・アクション福岡ニュース

2025.5.20
発行責任者：坂本 幸穂

VOL.9



過酷な看護現場の実態を報告する師長



みんなの想いを
つなぎ合わせた横断幕



宣伝カーの上でスピーチする
新人看護師たち

「5.12 看護の日宣伝行動」が
白衣姿の113名の参加で大成功!!



5月12日(月)に博多駅前博多口で、ナース・アクション福岡実行委員会主催で、看護師・介護士・労働組合など113名が白衣姿で「5.12 看護の日宣伝行動」を行いました。

リレートーク、高等教育無償化を求める署名、ビラ配布など多彩な取り組みで、署名95 筆を集めました。県内各地から集まった新人看護師たちが宣伝カーの上でスピーチし、各地の師長たちは過酷な看護現場の実態を訴えました。

TNCが取材するなど、地域に訴える貴重な機会として大きく成功しました。通りがかったサモアの正看護師は「私たちの国では、1勤務12時間だけど、夜勤16時間以上月4～5回なんて信じられない。一緒に頑張りましょう」と激励されました。



次々に署名に協力する
通行人



TNCの取材を受ける
看護部長



筑波大学名誉教授
田中洋子先生

ナース・アクション福岡オンライン講演会で
田中洋子氏 作詞・作曲「ナースコール2025」を紹介!!

4月26日(土)に筑波大学名誉教授の田中洋子先生を招聘し、オンライン講演会を開催しました。テーマは「看護師が働き続けられるために～日独比較の視点から～」。まず日本の看護師が働く条件を歴史でふり返り、次にドイツの看護師が働く条件を説明され、最後に日本の看護師が働き続けられるには何が必要かを講演いただきました。

参加者からの感想には、「田中先生は経済学、社会学を学ばれ、世の中のしくみ、矛盾を私たちにも分かりやすく教えていただきました。」「とても興味深い内容でした。ドイツの今があるのは勝ち取ってきた結果であるが、まだその現状に満足することなく、より働きやすい環境を目指している事に日本社会との格差を感じました。」「入室時の歌が、印象的でした。」「ナースコールの歌、最高です」「今はSNSがあり、若い人達の意識を変えていく1つの力になると。一部の権力者が力を持つのではなく、働く人たちが当然の権利を持つ世の中にしていけないといけない」と実感した。」と大きな反響が寄せられました。

参加者は総勢150名を超える規模で盛会に終わりました。

講演会の入室時の田中洋子先生
作詞・作曲の歌はこちらから→



問合せ先:ナース・アクション福岡
事務局担当 伊藤絹江

〒812-0011
福岡県福岡市博多区博多駅前1-19-3
博多小松ビル2F
(福岡県民主医療機関連合会内)

TEL:092-483-0431
FAX:092-483-0435
Email:itou@f-kenren.or.jp

「訪問看護ステーションアンケート」の取り組み

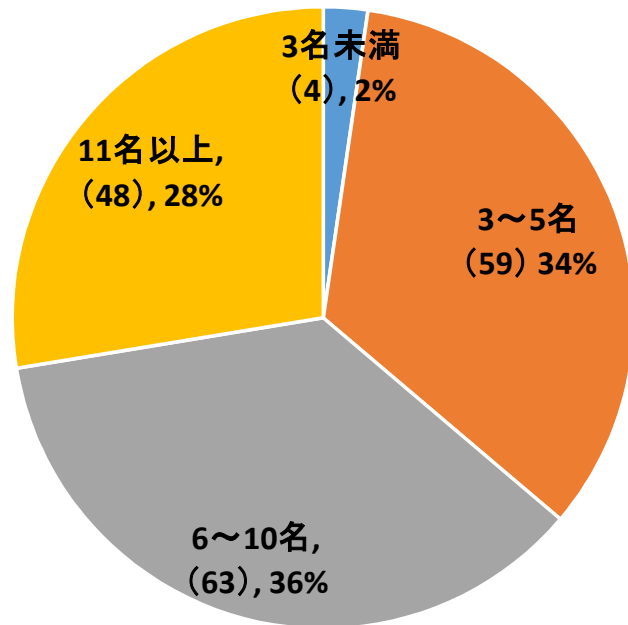
・**調査目的**: 2024年6月に行われたトリプル改定(診療報酬・介護報酬・福祉報酬)により、「訪問看護ベースアップ評価料」が新設されたものの、評価料が十分な金額でないことや対象職種が限られるなど、不十分な内容となっているため、アンケートで現場の実態を明らかにし、その結果をもとに改善に向けて自治体交渉等で訴えていくことを目的に調査を行った。

・**調査方法**: 福岡県内の訪問看護ステーション1,100件にハガキを送付し、2025年6月23日～7月31日の期間、Googleフォームで看護管理者に回答を求めた。連絡先は任意記載とした。

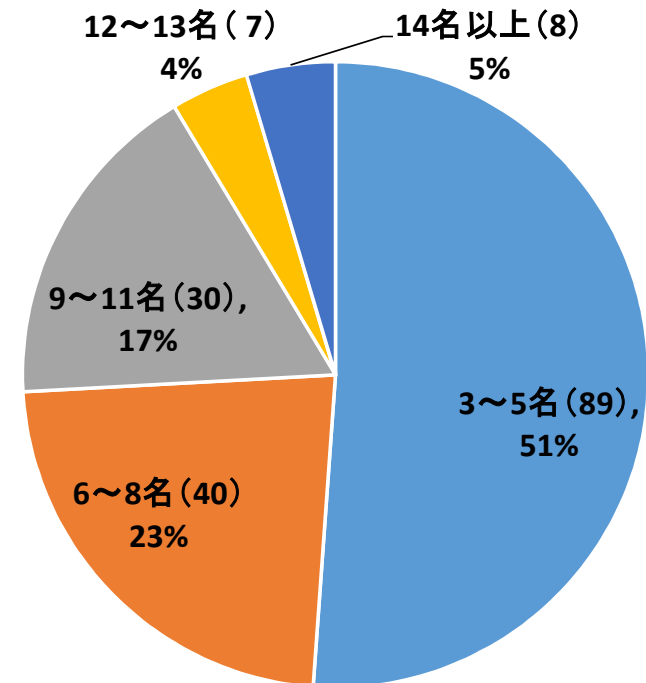
・**回答数・回答率** : 174事業所、15.8%

事業所規模について(事業所の職員数)

事業所の職員数を教えてください(非常勤含む) n=174



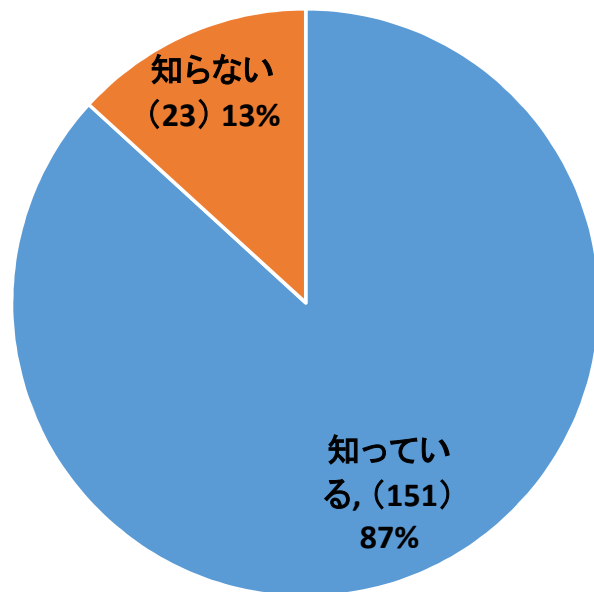
職員のうち看護職員は何名ですか? n=174



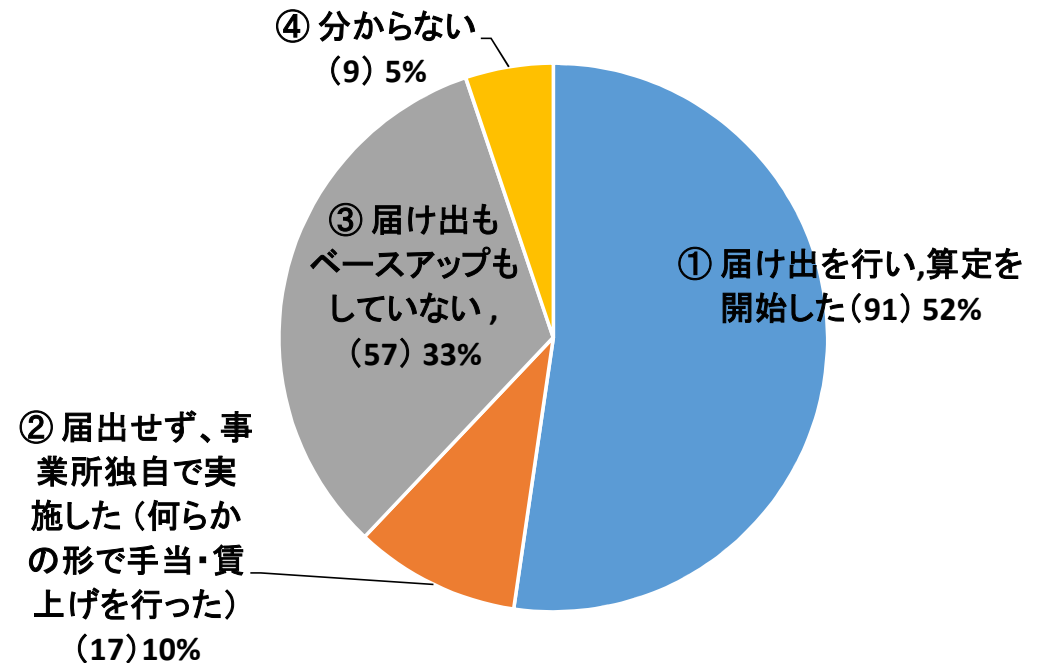
「訪問看護ステーションアンケート」の結果

「訪問看護ベースアップ評価料」はご存知ですか？

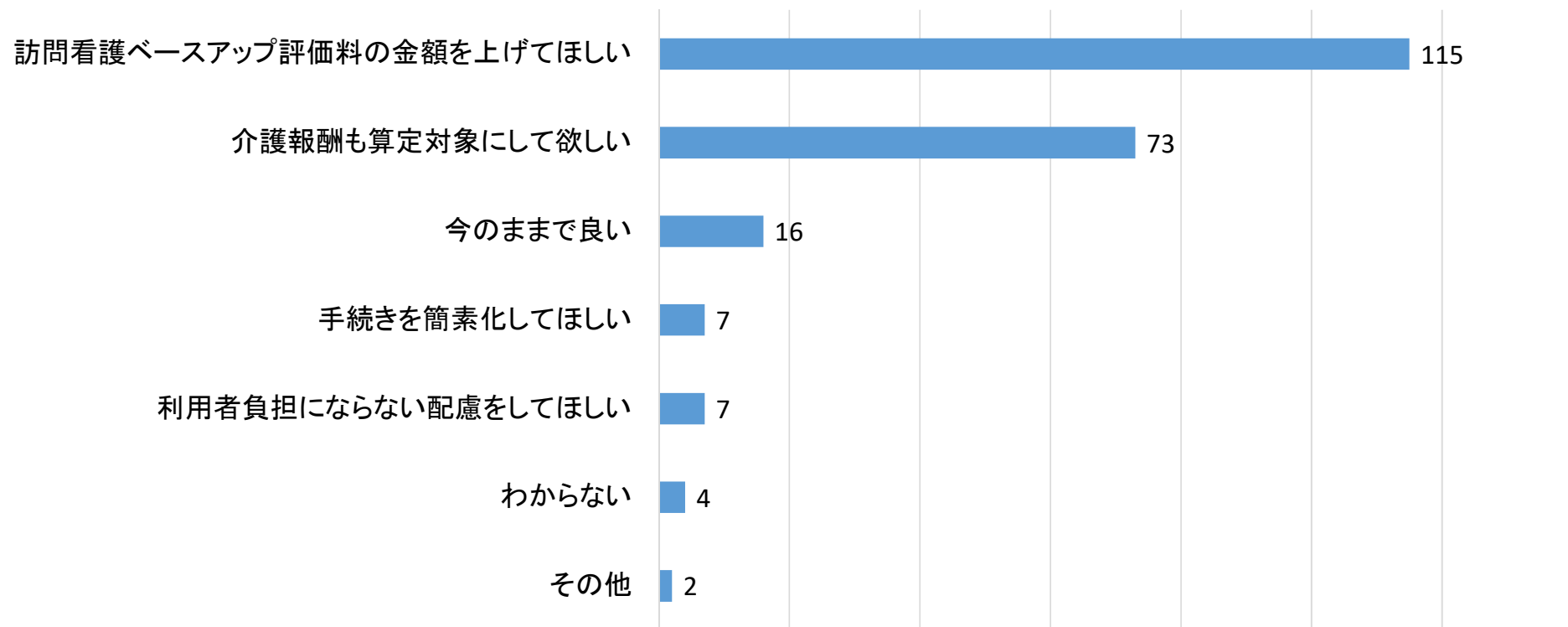
n=174



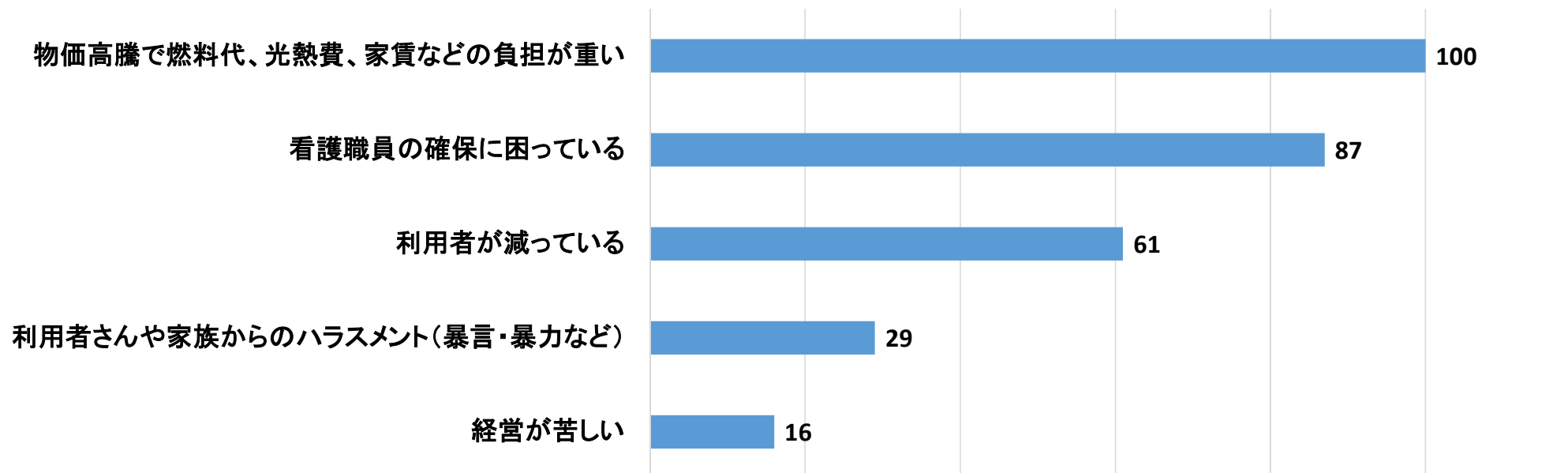
貴事業所の「訪問看護ベースアップ評価料」の対応を教えてください。 n=174



・今回の「訪問看護ベースアップ評価料」について、今後要望したいことをお答えください。その他にご意見があればご記入ください(複数回答可) n=174



・現在、困っていることやご要望などがありましたら、以下より選択してください。
その他にご意見があればご記入ください(複数回答可) n=174





福岡県看護協会会長との懇談

【自治体への要望】

①訪問看護ベースアップ評価料の金額を上げて欲しい

②介護報酬を算定対象にして欲しい

③物価高騰に見合う補助金を検討してほしい



2025.11.10
発行責任者：坂本 幸穂

ナース・アクション福岡ニュース VOL.10

福岡県看護協会・濱田正美会長と看護部長が懇談



10月29日に、濱田正美会長(中央右)と3法人の看護部長(右より健和会、親仁会、福岡医療団)が懇談を行いました。

懇談では、この間取り組んできた訪問看護アンケート調査の結果について報告し、訪問看護が置かれている状況について懇談を行いました。濱田会長からは「特に人材不足などの課題について、看護協会が運営する求人関係の「ナースセンター」を利用しているステーションの件数が少ないことが課題だと認識できた。今後の登録方法も含め簡素化できるよう改善していきたい」などのご発言を頂きました。



また、この間の病院経営の実態や人材確保の困難性などを共有し、緊急行動提起における請願署名の依頼も行いました。地域医療の現状について日本看護協会としても声明を発出している事もあり、濱田会長をはじめ11筆のご協力をいただきました。

終始和やかな雰囲気での懇談でき、お互いの認識が深まる場となりました。

懇談の様子

11月29日(土)15:00～博多駅前博多口にて「秋の宣伝行動」で、看護現場の実態を訴えながら緊急行動署名に取り組みます。

問合せ先：ナース・アクション福岡 事務局担当 伊藤絹江
〒812-0011福岡県福岡市博多区博多駅前1-19-3博多小松ビル2F
(福岡県民主医療機関連合会内)
TEL : 092-483-0431 FAX : 092-483-0435
Email : itou@f-kenren.or.jp



秋の宣伝行動・福岡県当局との懇談



2025.12.6
発行責任者：坂本 幸穂

ナース・アクション福岡ニュース
VOL.11

博多駅前博多口にて「秋の宣伝行動」を参加者70名で実施!!

11月29日（土）、クリスマス・マーケットで人通りの多いJR博多駅前で、看護師等70名が参加して「ナース・アクション福岡 秋の宣伝行動」を行いました。病院・診療所の経営状況や看護現場の実態について、看護師がリレートークをしながら地域医療を守る署名への協力を呼びかけました。チラシや署名入りティッシュが次々と受け取られ、**署名は45分で131筆**が集まりました。通行人も「診療所や病院が潰れたら困る」と次々に立ち止まってくださり、親子で署名に協力してくださる方もいました。

今国会では、「医療法改正」をめぐる、国会論戦が繰り広げられています。連日、国会には医療や介護団体、当事者団体などが国会議員に要請行動を行っています。引き続き署名へのご協力をお願いいたします。



県議2名を含めた看護部長と県当局との懇談の様子



11月27日は、福岡県議会議員（後藤香織県議、福地幸子県議）と3法人看護部長、県連事務局長で、訪問看護ステーションアンケート調査をもとに訪問看護や介護の実態について懇談。その後、福岡県の地域医療・介護関連の県担当者8名と意見交換しました。

訪問看護師は、医療と介護の狭間で地域医療を守るために必死で頑張っていますが、病院内で働く看護師よりも低賃金に抑えられ、離職率も23%と大変高くなっています。また、物価高騰の影響で、車のガソリン代や光熱費等への負担が大きく、特に小規模事業所は経営維持が大変困難です。訪問介護事業所についても、福岡県内で1区域に1事業所しかない市町村が5ヶ所もあることが、県当局の回答で明らかとなりました。

今後も「より良い看護」実現のために、私たちの想いを、福岡県に伝えていきます!!



後藤香織県議・福地幸子県議との懇談の様子

問合せ先：ナース・アクション福岡 事務局担当 伊藤絹江
〒812-0011福岡県福岡市博多区博多駅前1-19-3博多小松ビル2F
（福岡県民主医療機関連合会内）
TEL：092-483-0431 FAX：092-483-0435
Email：itou@f-kenren.or.jp

ご清聴ありがとうございました

